

常陸太田市 スポーツ施設整備計画



令和2年3月
常陸太田市教育委員会

目次

1. 計画の概要	3
(1) 策定の背景・趣旨	3
(2) 計画の位置づけ	3
(3) 計画期間	4
(4) 本計画の対象	4
2. 本市におけるスポーツをとりまく現状	6
(1) 人口の現状	6
(2) 市民のスポーツ活動の現状	8
(3) 市内の学校施設・廃校の利用状況	9
3. スポーツ施設の現状	12
(1) スポーツ施設の概要	12
(2) スポーツ施設の利用状況	15
(3) スポーツ施設（建物、付帯設備等）の現況	17
(4) スポーツ施設の運営・管理状況	18
(5) スポーツ施設に対する市民意見	19
4. スポーツ施設整備に向けた課題整理	21
(1) 人口動態への対応	21
(2) スポーツ施設の適正化	21
(3) 施設の安全性の確保	21
(4) 持続可能な施設運営と管理体制の確保	21
(5) 利用者ニーズへの対応	21
5. 整備に係るスポーツ施設の評価と今後の方向性	23
(1) 基本的な考え方	23
(2) 定量的評価結果	24
(3) 定性的情報	29
(4) スポーツ施設の方向性と整備計画	33
(5) 各スポーツ施設のライフサイクルコスト（推計）	39
(6) スポーツ施設に対する新たな利用ニーズの検討・発掘	40
(7) 利用料金体系の見直しと運営・管理体制の検討	40
6. 資料編	42
(1) 常陸太田市スポーツ施設整備計画策定委員会設置要項	42
(2) 策定委員会開催経過	43
(3) スポーツ施設の現況	44
(4) スポーツ施設整備計画策定委員会委員名簿	53

1. 計画の概要

1. 計画の概要

(1) 策定の背景・趣旨

本市では平成31年3月に、人口減少や高齢化の進展、ニーズの多様化等、スポーツ活動を取り巻く環境が変化中、スポーツを通して健康な心を育て、地域とのふれあいや絆を深め、市民が支えあいながら健康で明るく活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指す「常陸太田市スポーツ推進計画」を策定しました。そして、基本的な方針の1つとして「スポーツ施設の整備と適切な維持管理」を掲げ、利用状況に見合った適正な施設整備や機能別のスポーツ施設の再編を実施することとしています。

本市に現在立地しているスポーツ施設は、合併以前の1市1町2村においてそれぞれ整備されたものであり、今もなお市民に利用されています。

一方で、人口減少等による利用者の減少や、建物・設備の老朽化や劣化が進行している施設もみられ、本市の厳しい財政状況を踏まえると、すべてのスポーツ施設を将来にわたって維持・更新していくことは困難であると考えられます。

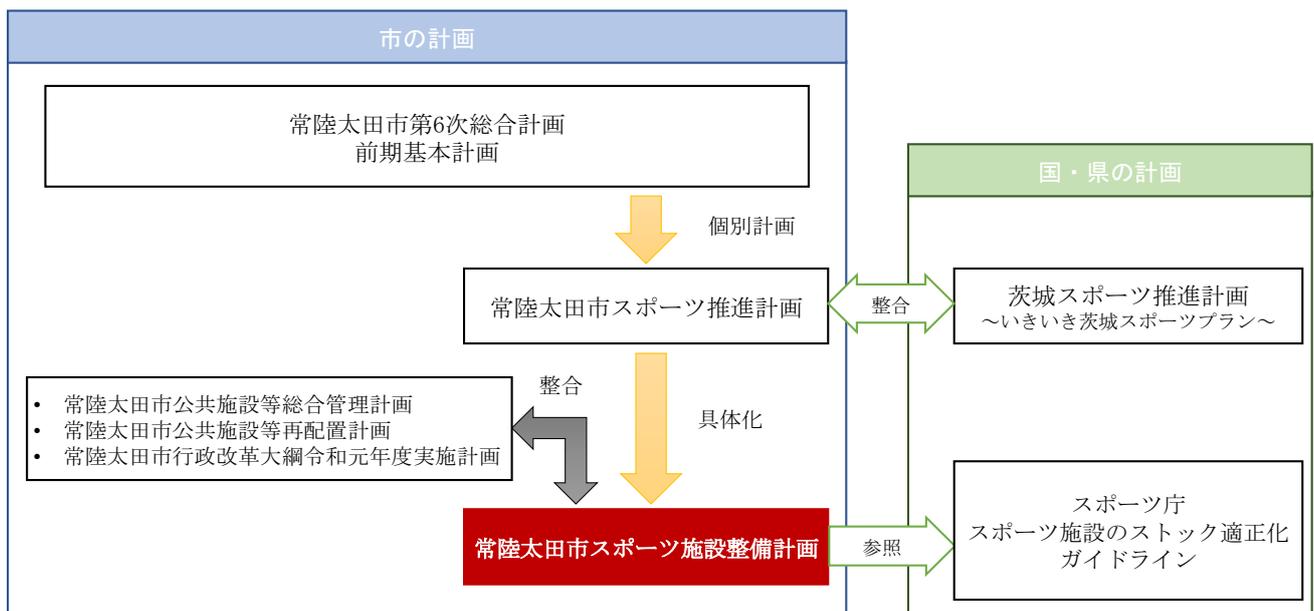
こうしたことから、本計画では、本市を取りまく様々な環境やスポーツ施設の実態を踏まえつつ、市民にスポーツ活動の場を提供していくために、スポーツ施設に関する整備の方針を具体的に定めることとします。

(2) 計画の位置づけ

本市では、市の最上位計画である「常陸太田市第6次総合計画」（以下、「総合計画」という。）を策定し、同計画に記載された政策や施策の実現に向けて、各分野で個別に計画を策定しています。

本計画は、総合計画の個別計画である「常陸太田市スポーツ推進計画」について、スポーツ施設の整備に関する方向性をさらに具体的に定めるものです。

なお、本計画の策定にあたっては、本市の公共施設等のあり方について基本的な考え方を示す「常陸太田市公共施設等総合管理計画」をはじめとする各種行政計画に加え、茨城県やスポーツ庁の各種計画やガイドライン等も適宜参照し、整合性を図ることとします。



(3) 計画期間

本計画の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

ただし、社会情勢やその他の各種事情の変化があった場合には、必要に応じて計画期間の見直しも検討します。

No.	計画名	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	常陸太田市第6次総合計画 (前期基本計画)													
2	常陸太田市スポーツ推進計画													
3	常陸太田市スポーツ施設整備計画													

(4) 本計画の対象

本計画の対象となるスポーツ施設は、以下のとおりです。

施設 No.	施設名	建物等
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道室含む）、武道館、弓道場、運動広場、芝広場、野球場（本部室含む）、少年野球場、テニスコート、相撲場
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	テニスコート、更衣室
3	白羽スポーツ広場	管理棟、スポーツ広場（多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー、ターゲットバードゴルフ場、ふれあいセンター、ふれあいプール管理棟、ふれあいプール、テニスコート、野球場
5	大方運動公園	南側、北側
6	水府海洋センター	体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）、プール
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）、テニスコート
8	松平運動公園	自由広場
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）、野球場倉庫、テニスコート
10	温水プール	温水プール

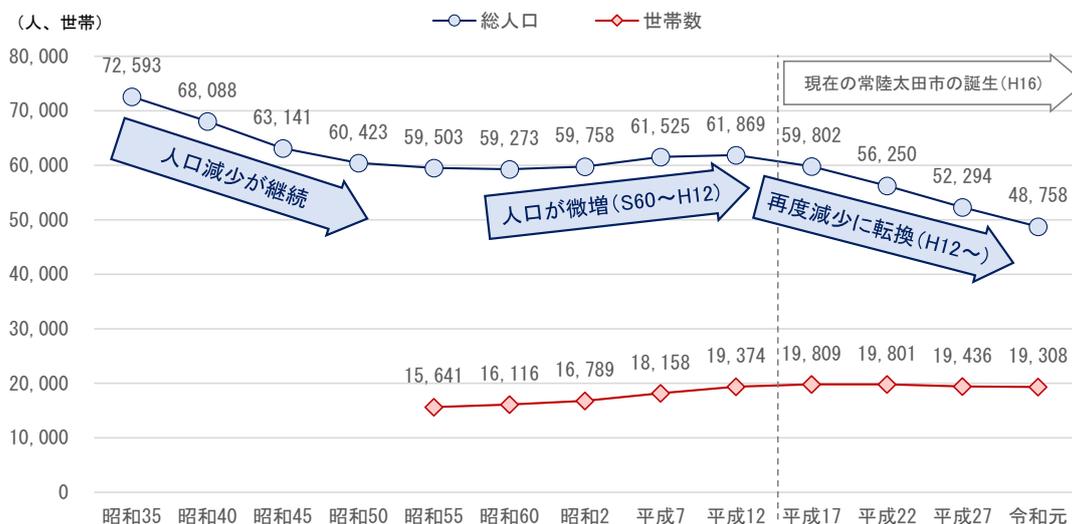
2. 本市におけるスポーツをとりまく現状

2. 本市におけるスポーツをとりまく現状

(1) 人口の現状

本市の人口は、昭和 35 年以降減少が続いてきましたが、昭和 60 年に一旦下げ止まり、平成 12 年にかけて微増していました。しかしその後は再び減少に転じ、平成 27 年の国勢調査結果では 52,294 人、令和元年 10 月時点の常陸太田市常住人口調査結果では 48,758 人となっています。

総人口及び世帯数の推移

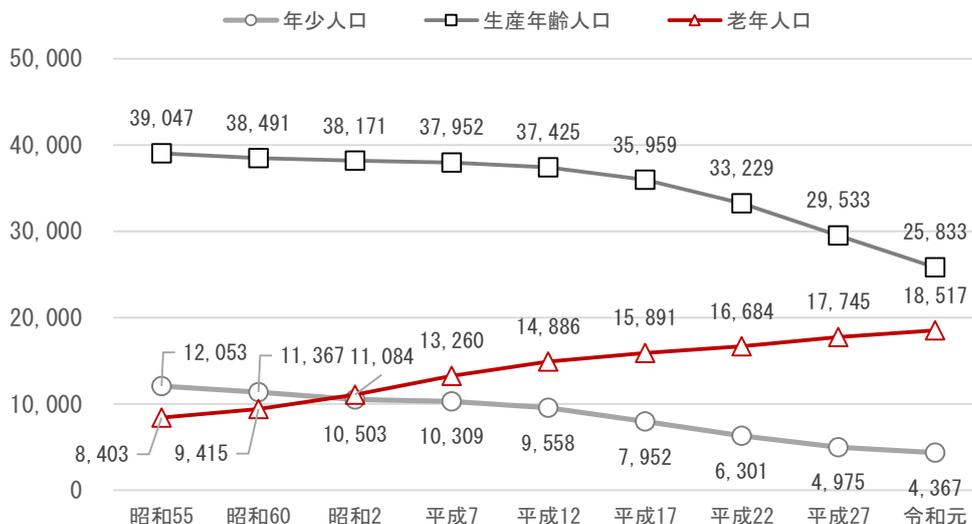


資料：昭和 35 年～平成 27 年までの値は国勢調査、令和元年の値は常陸太田市常住人口調査結果（10 月）

また、年齢 3 区分別の人口をみると、年少人口（0 歳～14 歳）については、昭和 55 年には約 12,100 人でしたが、令和元年には約 4,400 人と 4 割以下にまで減少しています。生産年齢人口（15 歳～64 歳）、も、昭和 55 年から減少傾向であり、令和元年は約 26,000 人となっています。

一方で、老年人口（65 歳以上）は、昭和 55 年には約 8,400 人でしたが、令和元年には約 18,500 人と 2 倍以上に増加しています。

年齢 3 区分別人口の推移



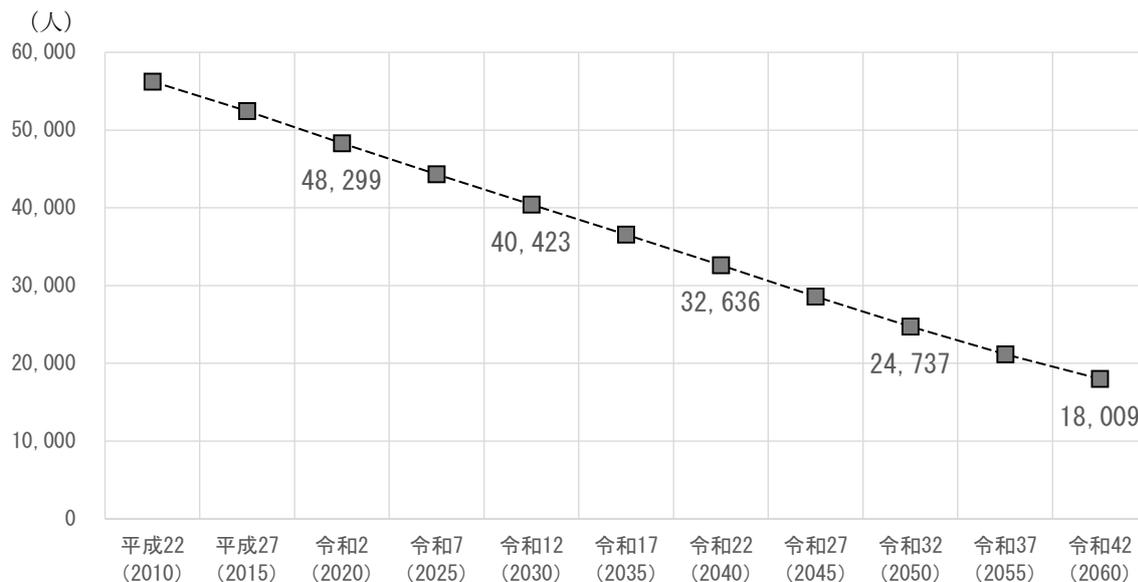
資料：昭和 55 年～平成 27 年までの値は国勢調査、令和元年の値は常陸太田市常住人口調査結果（10 月）

このように、本市の人口は、総人口の減少と高齢化が進行していることがわかります。

総人口について、現在の状況が継続すると仮定した場合、令和42年までには18,009人となり、令和元年の常住人口の約37%にまで減少することが見込まれています。

本市の人口の状況は、スポーツ施設の利用状況にも大きな影響を与えると考えられます。そのため、常に最新の人口動向を注視しつつ、スポーツ施設のあり方についても継続的に検討していくことが重要となります。

将来人口推計

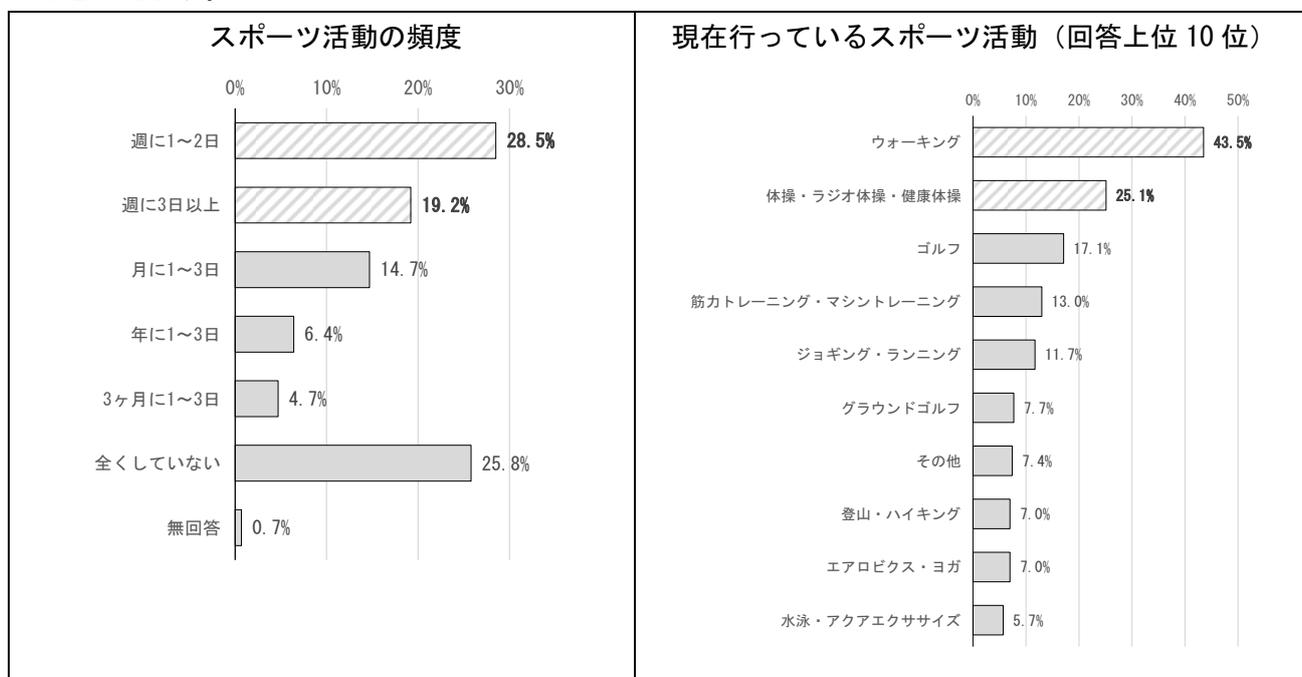


資料：国立社会保障・人口問題研究所より

(2) 市民のスポーツ活動の現状

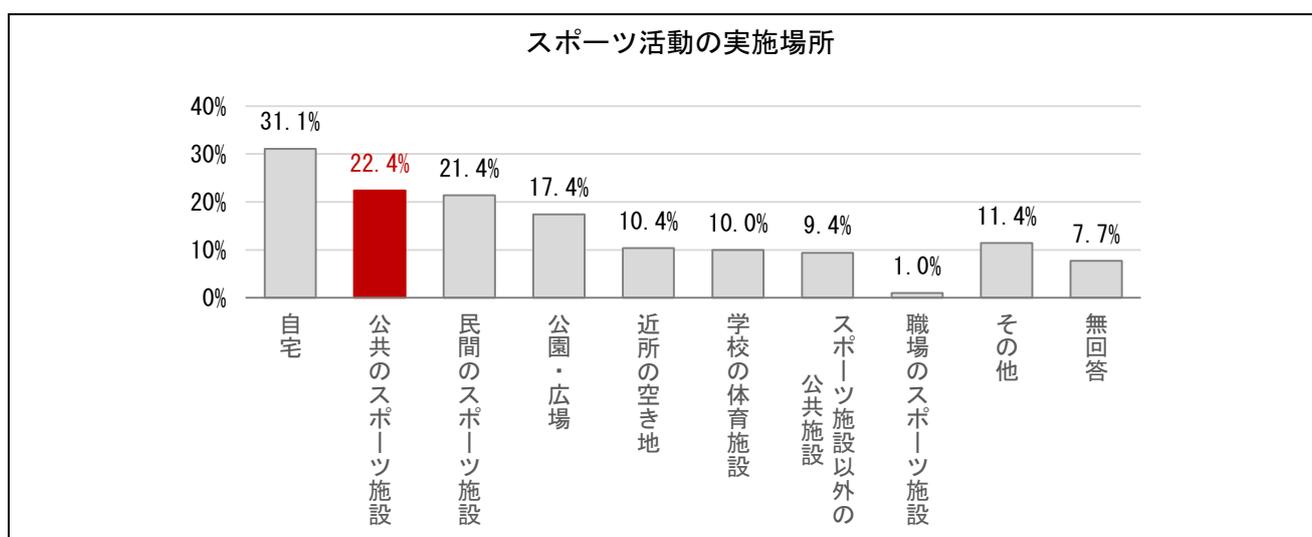
市民のスポーツ活動の状況を見ると、「週に1~2日」が28.5%と最も高く、「週に3日以上」の19.2%と合わせると、市民の約半数が週1日以上何らかのスポーツ活動を行っていると考えられます。

現在行っているスポーツ活動の内容をみると、「ウォーキング」が43.5%と最も高く、次いで「体操・ラジオ体操・健康体操」が25.1%となっており、比較的手軽に楽しめるスポーツ活動が市民に浸透しているといえます。



資料：常陸太田市教育委員会「常陸太田市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査結果報告書」（平成31年3月）より

スポーツ活動の実施場所としては「自宅」の31.1%に続き、「公共のスポーツ施設」が22.4%となっており、市が管理・運営を行っているスポーツ施設が、市民のスポーツ活動の場として極めて重要な役割を担っていることがわかります。

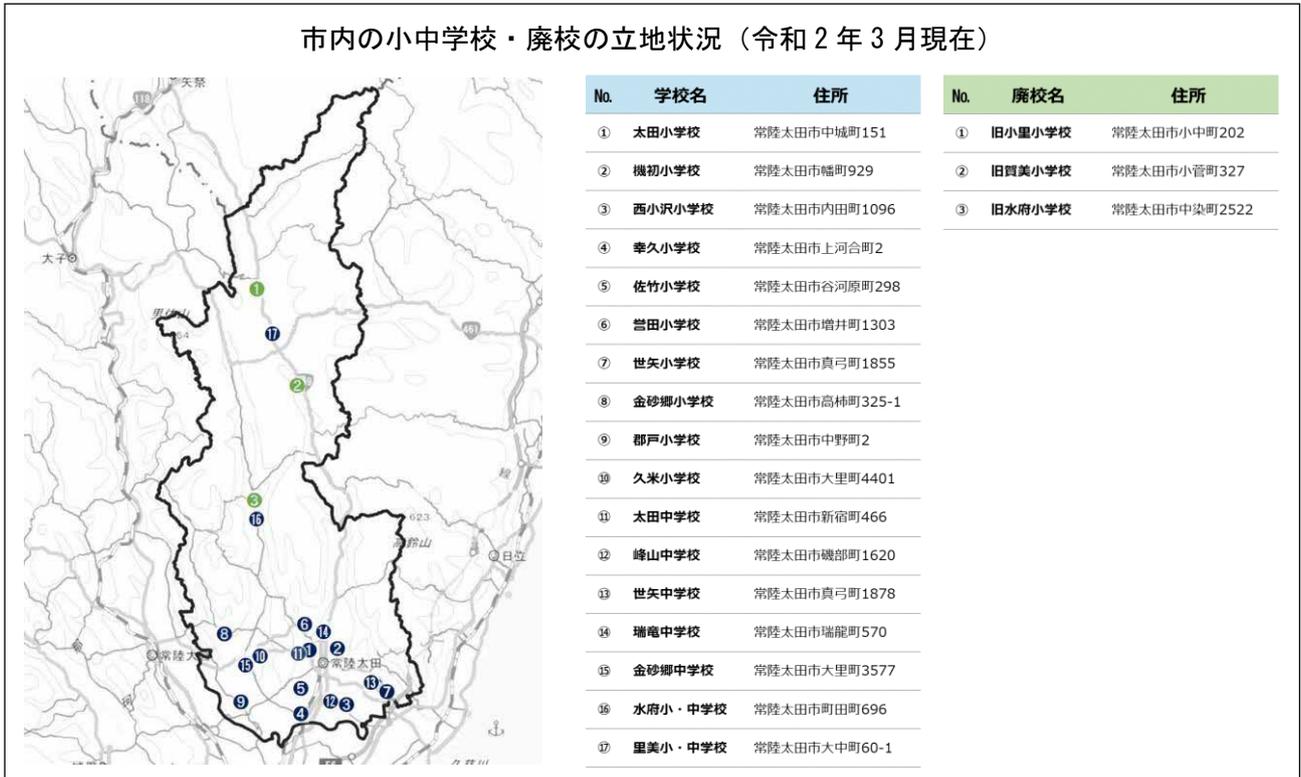


資料：常陸太田市教育委員会「常陸太田市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査結果報告書」（平成31年3月）より

(3) 市内の学校施設・廃校の利用状況

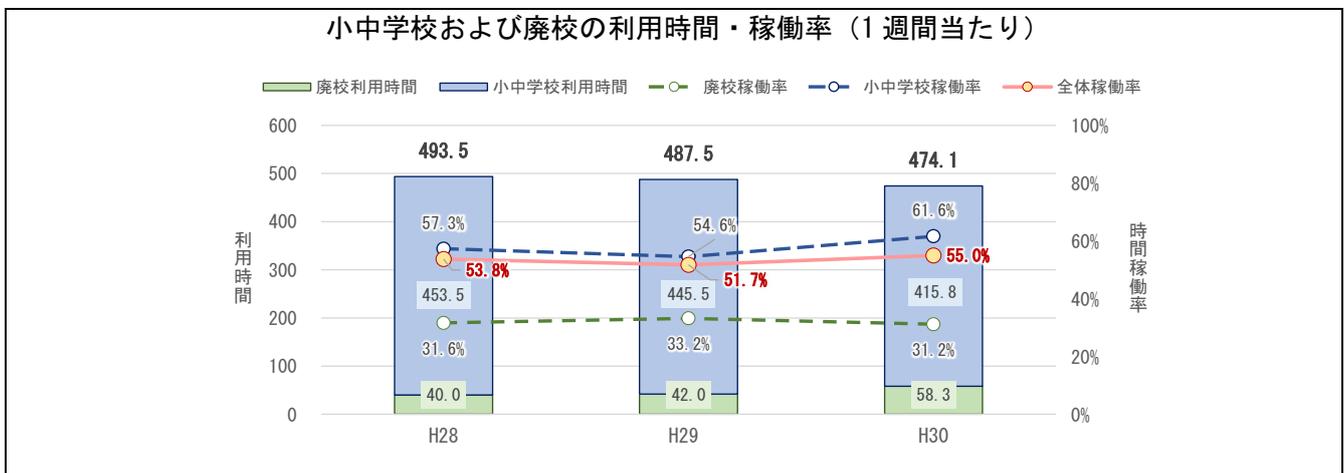
スポーツ基本法第13条では、「学校教育法第二条第二項に規定する国立学校及び公立学校の設置者は、その設置する学校の教育に支障のない限り、当該学校のスポーツ施設を一般のスポーツのための利用に供するよう努めなければならない」と規定されています。こうした法の規定等を踏まえ、本市に立地する合計17の小中学校を市民に開放し、本市における地域スポーツの普及を図っています。

また、3つの廃校についても、既存の小中学校と同様に市民に開放しています。



資料：常陸太田市スポーツ振興課

学校施設等の利用状況について1週間当たりの平均的な利用時間の推移をみると、平成28年度は小中学校・廃校合わせて約494時間でしたが、平成30年度には約474時間に減少しています。また、これらの学校施設等の稼働率について同様にみると、小中学校は50%台、廃校については30%台にとどまっています。



資料：常陸太田市スポーツ振興課

こうしたことから、市民のスポーツ活動の実施場所として、各スポーツ施設に加え、既存の学校施設等の一層の利用促進を図っていくことが重要だと考えられます。

3. スポーツ施設の現状

3. スポーツ施設の現状

(1) スポーツ施設の概要

本市のスポーツ施設は、山吹運動公園と里美運動公園は昭和 40 年代末から 50 年代にかけて、その他のスポーツ施設は概ね平成初期に整備されています。

合併前の旧市町村においてそれぞれの施設が整備されたため、現在でも市内の各地域に施設が残されていることがわかります。

スポーツ施設の概要一覧

施設 No.	施設名	建物等	所在地	開館年	築年数
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道室含む）	常陸太田市新宿町 1	昭和52年	42年
		武道館		昭和57年	37年
		弓道場		昭和54年	40年
		運動広場、芝広場		昭和53年	41年
		野球場（本部室含む）		昭和49年	45年
		少年野球場		昭和51年 平成26年7月改修	5年
		テニスコート		昭和54年 平成23年震災復旧	40年
		相撲場		昭和53年	41年
2	春友彫刻の森運動公園 （テニスコート部分）	テニスコート	常陸太田市春友町43-3	平成9年	22年
		更衣室			
3	白羽スポーツ広場	管理棟	常陸太田市白羽町1738 - 1	平成10年	21年
		スポーツ広場（多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）			
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	常陸太田市大里町4401	平成3年	28年
		ターゲットバードゴルフ場			
		ふれあいセンター			
		ふれあいプール管理棟			
		ふれあいプール			
		テニスコート			
野球場					
5	大方運動公園	南側	常陸太田市大方町2511	平成25年	6年
		北側		平成27年	4年
6	水府海洋センター	体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）	常陸太田市天下野町7233 - 2	平成3年	28年
		プール			
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	常陸太田市天下野町7233 - 2	平成元年	30年
		テニスコート			
8	松平運動公園	自由広場	常陸太田市松平町1164 - 1	平成9年	22年
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	常陸太田市大中町1335	昭和59年	35年
		野球場倉庫			
		テニスコート			
10	温水プール	温水プール	常陸太田市増井町360	平成15年	16年

資料：常陸太田市スポーツ振興課

各スポーツ施設が有している機能を見ると、テニスコートが比較的充実していることがわかります。競技人口が比較的多いサッカーのグラウンドについては、専用に整備された施設はありませんが、多目的広場においてサッカー場として利用可能な場所が確保されており、白羽スポーツ広場等は各種大会の会場として活用されています。

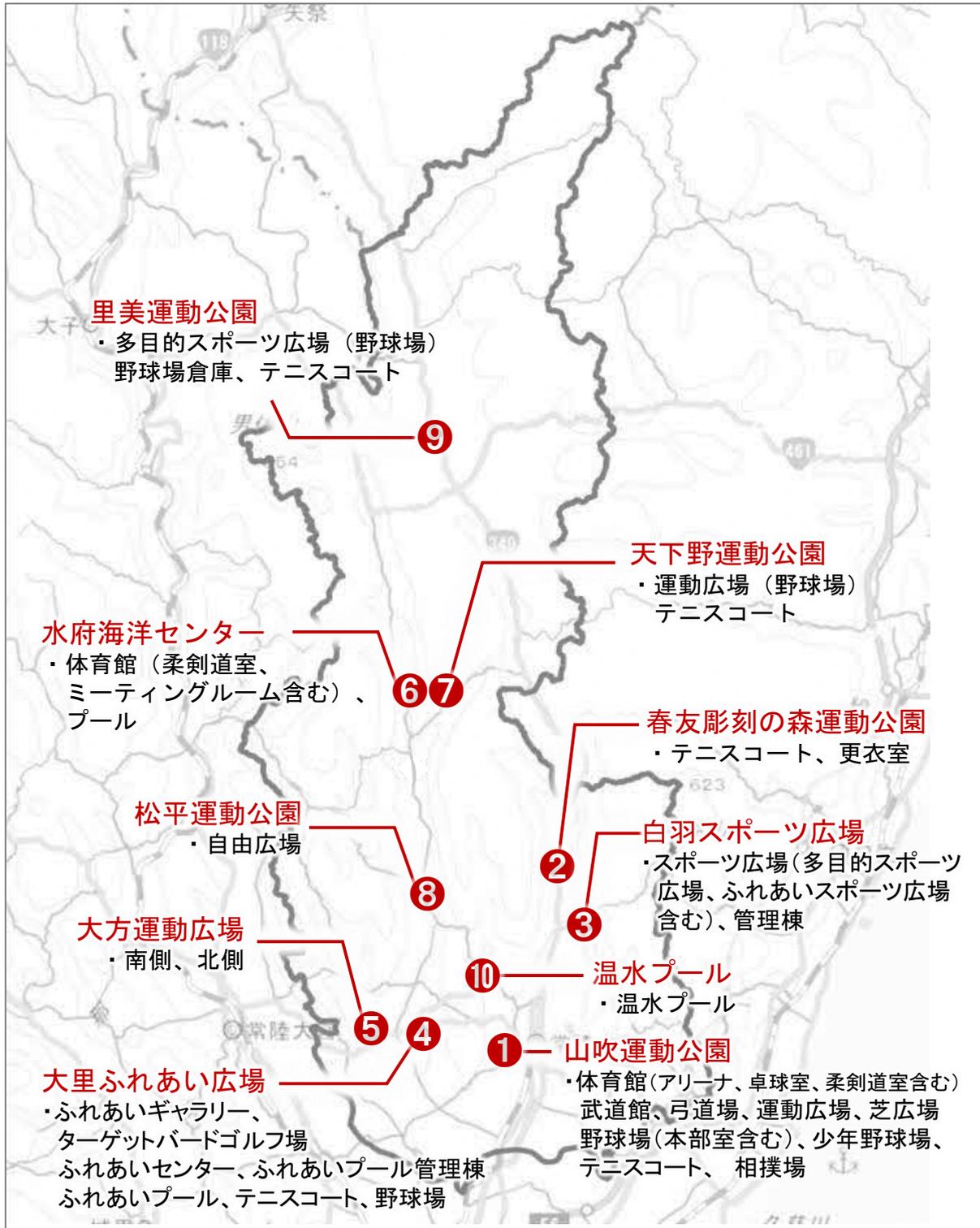
そのほか、大里ふれあい広場のターゲットバードゴルフ場といった特徴的な機能も整備されており、市内はもとより市外からも多くの方に利用されています。

スポーツ施設の保有機能一覧

施設 No.	施設名	体育館（アリーナ）	野球場（硬式含）※面数	少年野球場※面数	サッカー場※面数	少年サッカー場※面数	陸上競技場	テニスコート※コート数	トレーニングルーム	弓道場	武道場	柔剣道室	温水プール（屋内）	屋外プール	軽運動室	多目的広場など	その他	内訳
1	山吹運動公園	1	1	1				6		1	1	1				2	2	相撲場 ジョギングコース
2	春友彫刻の森運動公園（テニスコート部分）							2										
3	白羽スポーツ広場															2	1	ジョギングコース
4	大里ふれあい広場	1	1					2						1			1	ターゲットバードゴルフ
5	大方運動公園															2		
6	水府海洋センター	1										1	1					
7	天下野運動公園							2									1	
8	松平運動公園																1	
9	里美運動公園							2									1	
10	温水プール												1					
合計		3	2	1	0	0	0	14	0	1	1	2	2	1	0	9	4	

資料：常陸太田市教育委員会ホームページより作成

スポーツ施設の立地場所と保有機能一覧



(2) スポーツ施設の利用状況

各スポーツ施設の利用者数について、平成 28 年度から平成 30 年度の平均値をみると、山吹運動公園の利用者が 231,650 人と最も多く、次いで温水プールが 53,066 人、大里ふれあい広場が 27,752 人となっています。特に、山吹運動公園は市の中心部に立地し、数多くの機能を有することから利用者数が増加傾向にあります。

一方で、春友彫刻の森運動公園は、他の施設に比べると利用者が少なく、直近の 3 年間では利用数が減少傾向にあります。

利用者数推移（平均利用者数順※降順）

施設 No.	施設名	H28	H29	H30	H28-H30 平均
1	山吹運動公園	222,662	206,156	266,133	231,650
10	温水プール	53,662	53,701	51,834	53,066
4	大里ふれあい広場	27,368	27,876	28,012	27,752
6	水府海洋センター	17,584	21,595	16,265	18,481
3	白羽スポーツ広場	23,281	14,163	14,384	17,276
8	松平運動公園	6,995	7,672	7,670	7,446
5	大方運動公園	4,910	3,517	5,648	4,692
9	里美運動公園	4,022	2,455	3,655	3,377
7	天下野運動公園	3,541	2,869	2,941	3,117
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	1,789	1,564	1,501	1,618

資料：常陸太田市スポーツ振興課

各施設の稼働日 1 日当たりの利用者数については、山吹運動公園が 757 人、温水プールが 180 人、大里ふれあい広場が 91 人となっています。

各種スポーツ大会・イベント等は土曜日・日曜日・祝日に開催されることが多く、施設の利用が特定期間に集中しやすい傾向にあります。

そのため、各施設におけるスポーツ大会・イベント等の開催実態を踏まえ、各施設における適切な規模やあり方を検討していく必要があります。

一日当たり利用者数の推移（平均利用者数順※降順）

(人)

施設 No.	施設名	H28	H29	H30	H28-H30 平均
1	山吹運動公園	727.7	673.7	869.7	757.0
10	温水プール	185.0	180.2	175.1	180.1
4	大里ふれあい広場	89.4	91.1	91.5	90.7
6	水府海洋センター	57.5	70.6	53.2	60.4
3	白羽スポーツ広場	76.1	46.3	47.0	56.5
8	松平運動公園	22.9	25.1	25.1	24.3
9	里美運動公園	40.7	15.3	11.9	22.6
5	大方運動公園	16.0	11.5	18.5	15.3
7	天下野運動公園	11.6	9.4	9.6	10.2
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	5.8	5.1	4.9	5.3

資料：常陸太田市スポーツ振興課

各施設の利用料金収入をみると、温水プールが約 2,400 万円と最も高く、次いで山吹運動公園が約 600 万円、大里ふれあい広場が約 230 万円となっています。一方で、松平運動公園については基本的に無料で利用できる施設であり、利用料金がゼロとなっています。

また、料金体系については合併前の旧市町村において設定された料金が現在も維持されており、施設が立地する地域によって料金設定の考え方に差がみられます。

利用料金収入の推移（平均利用料金収入※降順）

(円)

施設 No.	施設名	H28	H29	H30	H28-H30 平均
10	温水プール	24,776,970	23,301,283	23,173,160	23,750,471
1	山吹運動公園	6,355,810	6,006,655	5,711,050	6,024,505
4	大里ふれあい広場	2,358,660	2,457,920	2,031,720	2,282,767
3	白羽スポーツ広場	762,875	557,875	533,200	617,983
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	202,060	191,400	195,800	196,420
9	里美運動公園	232,645	151,150	176,325	186,707
6	水府海洋センター	194,350	162,855	176,775	177,993
7	天下野運動公園	11,000	4,400	8,800	8,067
5	大方運動公園	550	3,300	4,950	2,933
8	松平運動公園	0	0	0	0

資料：常陸太田市スポーツ振興課

(3) スポーツ施設（建物、付帯設備等）の現況

本市のスポーツ施設は昭和40年代末から平成初期に建設されたものが多く、特に山吹運動公園の建物は、その多くが建築後40年を経過しています。また、平成23年3月の東日本大震災により、本市のスポーツ施設にも地盤沈下や内壁・外壁のひび割れなどの被害が出ており、一部の施設では現在でもその影響がみられます。

さらに、段差の解消や身体障がい者用トイレの整備といった施設のバリアフリー化についても、未対応となっている施設が多く、利用者の利便性や快適性については問題があります。

施設の築年数の状況

施設No.	施設名	建物等	開館年	築年数	バリアフリー対応
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道室含む）	昭和52年	42年	未対応
		武道館	昭和57年	37年	
		弓道場	昭和54年	40年	
		運動広場、芝広場	昭和53年	41年	
		野球場（本部室含む）	昭和49年	45年	
		少年野球場	昭和51年 平成26年7月改修	5年	
		テニスコート	昭和54年 平成23年震災復旧	40年	
		相撲場	昭和53年	41年	
2	春友彫刻の森運動公園 （テニスコート部分）	テニスコート	平成9年	22年	未対応
		更衣室			
3	白羽スポーツ広場	管理棟	平成10年	21年	未対応
		スポーツ広場（多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）			
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	平成3年	28年	未対応
		ターゲットバードゴルフ場			
		ふれあいセンター			
		ふれあいプール管理棟			
		ふれあいプール			
		テニスコート			
5	大方運動公園	南側	平成25年	6年	未対応
		北側	平成27年	4年	
6	水府海洋センター	体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）	平成3年	28年	未対応
		プール			
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	平成元年	30年	未対応
		テニスコート			
8	松平運動公園	自由広場	平成9年	22年	未対応
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	昭和59年	35年	未対応
		野球場倉庫			
		テニスコート			
10	温水プール	温水プール	平成15年	16年	対応済み

資料：常陸太田市スポーツ振興課

(4) スポーツ施設の運営・管理状況

スポーツ施設の維持・管理に関するコストについて、平成 27 年度から平成 29 年度の平均値をみると、山吹運動公園公園が約 4,000 万円と最も高く、ついで温水プールが約 3,700 万円、大里ふれあい広場が約 1,000 万円、水府海洋センターが約 800 万円となっています。

また、将来的なコスト（40 年間推計）についてみると、山吹運動公園が約 39 億円、温水プールと水府海洋センターが約 15 億円、大里ふれあい広場が 10 億円となっており、概ね施設の規模に応じて維持・管理コスト及び将来的な修繕等のコストが高くなる傾向にあることがわかります。

各施設の維持管理に係るコスト（現在・将来）

施設 No.	施設名	(千円)	(百万円)	(円)	(円)
		維持管理コスト (H27-H29平均)	将来的なコスト (40年間推計)	利用者 1 人当たり 現在コスト	1 人当たり将来コスト (40年合計推計)
1	山吹運動公園	39,874	3,929	172	16,962
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	286	49	177	30,078
3	白羽スポーツ広場	6,517	342	377	19,806
4	大里ふれあい広場	10,543	1,079	380	38,894
5	大方運動公園	493	31	105	6,643
6	水府海洋センター	7,996	1,457	433	78,821
7	天下野運動公園	547	44	43	14,242
8	松平運動公園	320	14	43	1,931
9	里美運動公園	1,363	35	404	10,412
10	温水プール	37,604	1,544	693	28,470

資料：維持管理コスト・利用者 1 人当たり現在コストは常陸太田市スポーツ振興課より、将来的なコスト（40 年間推計）・1 人当たり将来コスト（40 年合計推計）は「常陸太田市公共施設等再配置計画」等より常陸太田市スポーツ振興課算出

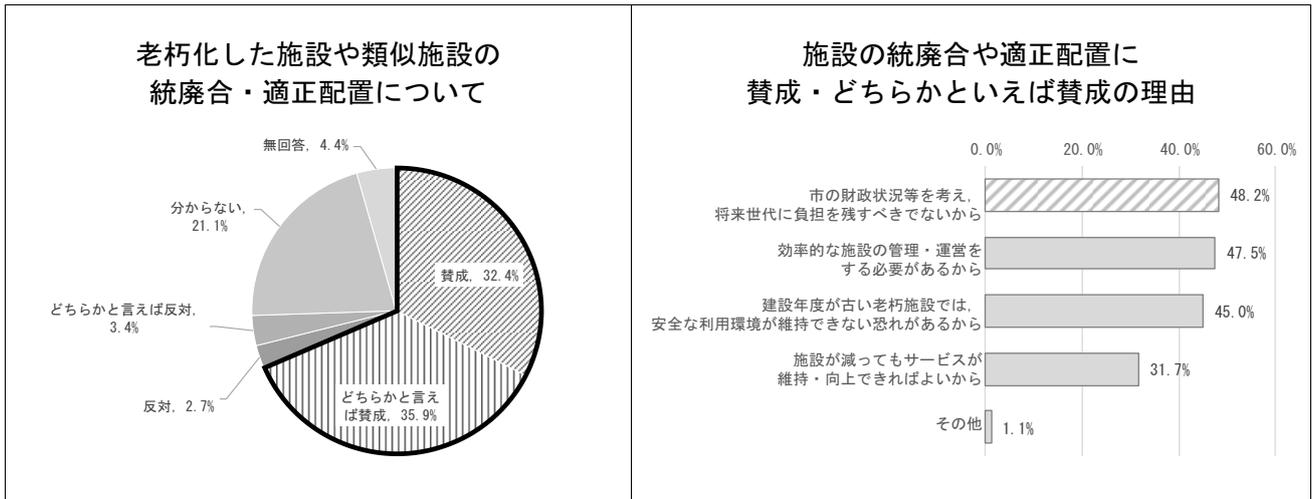
また、本市は平成 16 年 12 月の合併に伴い茨城県内一の市域面積を有しており、本市のスポーツ施設はこうした広範な市域の各地に点在しています。

そのため、スポーツ施設の数や規模、機能等の検討に加え、施設の効率的な運営方法についても検討していくことが重要です。

(5) スポーツ施設に対する市民意見

スポーツ施設の整備等に関する市民意見をみると、老朽化した施設・類似施設の統廃合や適正配置に対しては、約7割が「賛成」もしくは「どちらかといえば賛成」と回答しています。その理由として、「市の財政状況等を考え、将来世代に負担を残すべきではないから」が48.2%、次いで「効率的な施設の管理・運営をする必要があるから」が47.5%、「建築年度が古い老朽施設では安全な利用環境が維持できない恐れがあるから」が45.0%となっています。

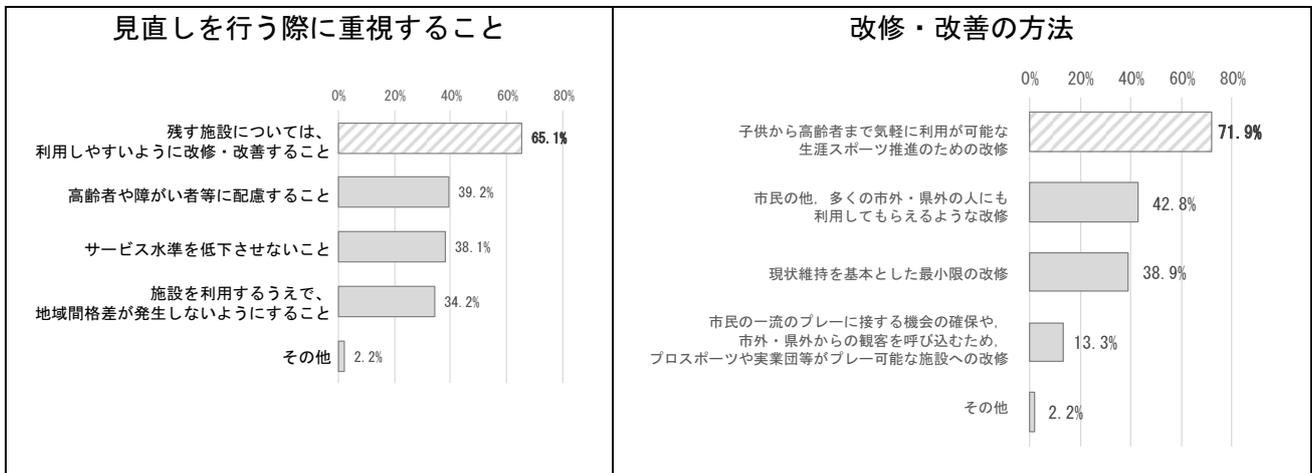
このような回答結果からは、財政状況を踏まえつつ、安全性と効率性を兼ね備えた施設の整備が重要であると認識されていることが推測されます。



資料：常陸太田市教育委員会「常陸太田市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査結果報告書」（平成31年3月）より

また、施設の見直しを行う際に重要だと思うこととして、「残す施設については、利用しやすいように改修・改善すること」が65.1%、「高齢者や障がい者等に配慮すること」が39.2%となっており、さらに、改修・改善の方法についても「子供から高齢者まで気軽に利用が可能な生涯スポーツ推進のための改修」が71.9%と特に高くなっています。こうしたことから、誰もが気軽に利用しやすい施設の整備が求められていると考えられます。

そのほか、「市民の他、多くの市外・県外の人にも利用してもらえるような改修」が42.8%、「市外・県外からの観客を呼び込むため、プロスポーツや実業団等がプレー可能な施設への改修」が13.3%となっており、市民以外にも多くの人に利用してもらえるような施設への要望も一定程度みられます。



資料：常陸太田市教育委員会「常陸太田市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査結果報告書」（平成31年3月）より

4. スポーツ施設整備に向けた課題整理

4. スポーツ施設整備に向けた課題整理

これまでみてきたスポーツ施設とその取り巻く現状をもとに、スポーツ施設の整備に向けた課題を整理します。

(1) 人口動態への対応

今後人口の減少とともに、本市のスポーツ施設の利用者は次第に減少していくことが想定され、一部の施設では既に減少傾向にある施設もみられます。そのため、各施設の近隣で機能が重複している施設については、今後の人口動向や立地する地域の特性を考慮しながら、適切な規模等への見直しやそれぞれの施設間での役割分担を検討していくことが必要です。

一方で、スポーツ施設に対する需要の検討・発掘を行い、スポーツ以外にも様々な用途に施設を利用させていただくことで、人口減少に伴う利用者数の減少を緩やかにしていくことも重要です。

(2) スポーツ施設の適正化

常陸太田市スポーツ推進計画策定時のアンケート調査結果（平成31年3月）によると、本市では市民の多くが、ウォーキングや体操といった比較的手軽に楽しめるスポーツ活動を実践しています。このような軽スポーツは、市内の学校施設等においても実践が可能であると考えられます。これらの各種学校施設の利用促進を図りながら、市民におけるスポーツ活動の場を確保しつつ、スポーツ施設を適正に配置していくことが必要です。

(3) 施設の安全性の確保

本市のスポーツ施設の多くが建築後20年から40年を経過しています。施設の老朽化や損傷は、利用者の安全性に直結するものであり、早急な対応が求められます。

そのため、各施設の経年劣化や耐震基準等への適合状況、その他関係法令への適合を踏まえた施設整備が必要となります。

(4) 持続可能な施設運営と管理体制の確保

温水プールを除くスポーツ施設は、市が直接管理・運営しており、市民が無料で利用できる施設も存在します。今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれる状況下で、持続可能な施設運営のために、各種施設の利用料金体系の見直しを検討していくことが必要です。

また、施設の運営についても、直営だけでなく、指定管理者制度の活用等も含めて、市民の利便性向上に資するような体制や手法を構築・検討していくことが重要です。

(5) 利用者ニーズへの対応

先に見たように本市のスポーツ施設は建築後20年から40年程度経過していることから、建設等の経年劣化とともに、スポーツ施設に求められる機能面での劣化も進行していると考えられます。

そのため、各種スポーツ施設の修繕・改修、更新にあたっては、利用者が快適に利用できるような空間性能や室内環境性能の確保、障がい者用トイレやスロープの設置といったバリアフリー化などの設備面での機能性向上や、市民のスポーツ活動の状況及び各種競技大会・イベントに関する開催実態を踏まえつつ、利用者ニーズに対応できる施設整備を実施していくことが必要です。

5. スポーツ施設の評価と今後の方向性

5. 整備に係るスポーツ施設の評価と今後の方向性

(1) 基本的な考え方

これまでみてきた本市におけるスポーツ施設の現状と市民の意見を踏まえ、それぞれの施設の整備に関する方向性を示します。

施設整備の方向性の検討にあたっては、①利用状況、②建物現況、③コストの各項目の値から定量的評価を行い、それを地域性等の要因を反映した定性的情報によって補足し、最終的な方向性を取りまとめました。

施設評価の考え方とフロー図

■ 定量的評価基準

評価項目		a	b	c	
利用状況	利用者数	平成28年から平成30年の利用者数の平均が上位30%	平成28年から平成30年の利用者数の平均が中位40%	平成28年から平成30年の利用者数の平均が下位30%	
	稼働1日当たりの利用者数	各施設における稼働日1日当たりの利用者数が上位30%	各施設における稼働日1日当たりの利用者数が中位40%	各施設における稼働日1日当たりの利用者数が下位30%	
	利用料金収入	平成28年から平成30年の利用料金収入の平均が上位30%	平成28年から平成30年の利用料金収入の平均が中位40%	平成28年から平成30年の利用料金収入の平均が下位30%	
評価項目		優	普	劣	
建物現況	老朽化の状況	残存耐用年数、内装の劣化状況、外壁材の劣化等の状況から全体的に健全であると認められる	残存耐用年数、内装の劣化状況、外壁材の劣化等の状況から緊急の補修の必要性は低い、劣化部分の定期的な観察が必要	残存耐用年数、内装の劣化状況、外壁材の劣化等の状況から、老朽化が進行しており緊急な補修や更新が必要	
	安全性	建築物	耐震性、躯体の状況、外被性能等の状況から、全体的に安全であると認められる	耐震性、躯体の状況、外被性能等の状況から、緊急の補修の必要性は低い、劣化部分の定期的な観察が必要	耐震性、躯体の状況、外被性能等の状況から、現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要
		グラウンド等	フェンス・ネット、外周壁等、観覧席、照明等の状況から、全体的に安全であると認められる	フェンス・ネット、外周壁等、観覧席、照明等の状況から、緊急の補修の必要性は低い、劣化部分の定期的な観察が必要	フェンス・ネット、外周壁等、観覧席、照明等の状況から、現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要
	バリアフリー対応	バリアフリー対応済み (身体障害者用トイレ、スロープの設置等)	一部バリアフリー対応済み	バリアフリー未対応	
評価項目		a	b	c	
コスト	現在の施設の維持・管理コスト	利用者一人あたりのコストが種別ごとの比較で下位30% (低コスト)	利用者一人あたりのコストが種別ごとの比較で中位40% (中コスト)	利用者一人あたりのコストが種別ごとの比較で上位30% (高コスト)	

■ 定性的情報により補足

定量的評価を、スポーツ推進計画上の位置づけや施設の立地状況、危険度、その他の各種定性的情報により補足する。また、危険度が高く整備等を進めるべき施設について、高い順からA、B、Cの3段階で示す。

最終的な施設整備の方向性の決定

(2) 定量的評価結果

①利用状況（利用者数・1日当たり利用者数・利用料収入）

利用状況に関するスポーツ施設の評価結果は、以下のとおりです。

利用状況に関する評価方法詳細

- ・ 施設整備に係る評価であることから、利用度が高く、優先的に整備を進めるべき施設の獲得 pt を高くしている。
- ・ 各項目について「a 評価」は 5pt、「b 評価」は 3pt、「c 評価」は 1pt を付与し、各建物の獲得 pt と、施設全体の獲得 pt（各建物獲得 pt の平均）を算出。

施設 No.	施設名	建物等	利用者数	一日当たり利用者数	利用料収入	建物獲得pt	施設全体獲得pt
1	山吹運動公園	体育館 (アリーナ、卓球室、柔剣道室含む)	a	a	a	15pt	11pt
		武道館	b	b	b	9pt	
		弓道場	b	b	b	9pt	
		運動広場、芝広場	a	a	b	13pt	
		野球場（本部室含む）	a	a	a	15pt	
		少年野球場	b	b	b	9pt	
		テニスコート	a	a	a	15pt	
		相撲場	c	c	c	3pt	
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	テニスコート	c	c	b	5pt	5pt
		更衣室					
3	白羽スポーツ広場	管理棟					15pt
		スポーツ広場(多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む)	a	a	a	15pt	
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー					9.8pt
		ターゲットバードゴルフ場	b	b	a	11pt	
		ふれあいセンター	b	b	b	9pt	
		ふれあいプール管理棟					
		ふれあいプール	b	b	b	9pt	
		テニスコート	b	b	b	9pt	
5	大方運動公園	南側、北側	b	b	c	7pt	7pt
6	水府海洋センター	体育館 (柔剣道室、ミーティングルーム含む)	a	a	b	13pt	9pt
		プール	c	c	b	5pt	
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	c	c	c	3pt	3pt
		テニスコート	c	c	c	3pt	
8	松平運動公園	自由広場	b	b	c	7pt	7pt
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	b	b	b	9pt	6pt
		野球場倉庫					
		テニスコート	c	c	c	3pt	
10	温水プール	温水プール（水泳場）	a	a	a	15pt	15pt

②建物現況（老朽化度・安全性・バリアフリー対応状況）

建物現況に関するスポーツ施設の評価結果は、以下のとおりです。

建物現況に関する評価方法詳細

- ・ 施設整備に係る評価であることから、老朽化等の観点から健全性が低く、優先的に整備を進めるべき施設の獲得ptを高くしている。
- ・ 各項目について「優評価」は1pt、「普評価」は3pt、「劣評価」は5ptを付与し、各建物の獲得ptと、施設全体の獲得pt（各建物獲得ptの平均）を算出。

施設No.	施設名	建物等	老朽化度	安全性	バリアフリー対応状況	建物獲得pt	施設全体獲得pt
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道室含む）	劣	普	劣	13pt	11.5pt
		武道館	劣	普	劣	13pt	
		弓道場	劣	普	劣	13pt	
		運動広場、芝広場	普	普	劣	11pt	
		野球場（本部室含む）	普	普	劣	11pt	
		少年野球場	優	優	劣	7pt	
		テニスコート	普	普	劣	9pt	
		相撲場	劣	劣	劣	15pt	
2	春友彫刻の森運動公園 （テニスコート部分）	テニスコート	普	普	劣	11pt	11pt
		更衣室	普	普	劣	11pt	
3	白羽スポーツ広場	管理棟	普	普	劣	11pt	11pt
		スポーツ広場（多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）	普	普	劣	11pt	
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	劣	普	劣	13pt	13.6pt
		ターゲットバードゴルフ場	劣	普	劣	13pt	
		ふれあいセンター	劣	普	劣	13pt	
		ふれあいプール管理棟	劣	普	劣	13pt	
		ふれあいプール	劣	普	劣	13pt	
		テニスコート	劣	劣	劣	15pt	
		野球場	劣	劣	劣	15pt	
5	大方運動公園	南側、北側	優	劣	劣	11pt	11pt
6	水府海洋センター	体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）	劣	普	劣	13pt	14pt
		プール	劣	劣	劣	15pt	
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	劣	劣	劣	15pt	15pt
		テニスコート	劣	劣	劣	15pt	
8	松平運動公園	自由広場	優	優	普	5pt	5pt
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	劣	普	劣	13pt	13.7pt
		野球場倉庫	劣	普	劣	13pt	
		テニスコート	劣	劣	劣	15pt	
10	温水プール	温水プール（水泳場）	優	優	優	3pt	3pt

③コスト（1人当たり現在コスト・1人当たり将来コスト）

コストに関するスポーツ施設の評価結果は、以下のとおりです。

建物のコストに関する評価方法詳細

- ・ 施設整備に係る評価であることから、コストが低く、優先的に整備を進めるべき施設の獲得ptを高くしている。
- ・ 各項目について「a評価」は5pt、「b評価」は3pt、「c評価」は1ptを付与し、施設全体の獲得ptを算出。

施設No.	施設名	建物等	1人当たり現在コスト (H27-29平均)	施設全体 獲得pt
1	山吹運動公園	体育館 (アリーナ、卓球室、柔剣道室含む)	a	5pt
		武道館		
		弓道場		
		運動広場、芝広場		
		野球場（本部室含む）		
		少年野球場		
		テニスコート		
		相撲場		
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	更衣室	b	3pt
		テニスコート		
3	白羽スポーツ広場	管理棟	b	3pt
		スポーツ広場(多目的スポーツ広場、 ふれあいスポーツ広場含む)		
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	b	3pt
		ターゲットバードゴルフ場		
		ふれあいセンター		
		ふれあいプール管理棟		
		ふれあいプール		
		テニスコート		
		野球場		
5	大方運動公園	南側、北側	a	5pt
6	水府海洋センター	体育館 (柔剣道室、ミーティングルーム含む)	c	1pt
		プール		
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	b	3pt
		テニスコート		
8	松平運動公園	自由広場	a	5pt
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	b	3pt
		野球場倉庫		
		テニスコート		
10	温水プール	温水プール（水泳場）	c	1pt

④定量的評価結果一覧

建物ごとの定量的評価結果は以下のとおりです。

施設全体獲得 pt の合計については絶対評価方式とし、施設整備の優先度に係る獲得 pt として 26.0pt 以上を「A 評価」、22.0pt 以上 26.0pt 未満を「B 評価」、22.0pt 未満を「C 評価」としました。

施設 No.	施設名	建物等	施設獲得pt			施設全体獲得pt	定量評価結果一覧
			①利用状況 (H28-30平均)	②建物現況	③コスト		
1	山吹運動公園	体育館 (アリーナ、卓球室、柔剣道室含む)	11.0pt	11.5pt	5.0pt	27.5pt	A
		武道館					
		弓道場					
		運動広場、芝広場					
		野球場 (本部室含む)					
		少年野球場					
		テニスコート					
		相撲場					
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	更衣室	5.0pt	11.0pt	3.0pt	19pt	C
		テニスコート					
3	白羽スポーツ広場	管理棟	15.0pt	11.0pt	3.0pt	29pt	A
		スポーツ広場 (多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む)					
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	9.8pt	13.6pt	3.0pt	26.4pt	A
		ターゲットバードゴルフ場					
		ふれあいセンター					
		ふれあいプール管理棟					
		ふれあいプール					
		テニスコート					
野球場							
5	大方運動公園	南側、北側	7.0pt	11.0pt	5.0pt	23pt	B
6	水府海洋センター	体育館 (柔剣道室、ミーティングルーム含む)	9.0pt	14.0pt	1.0pt	24pt	B
		プール					
7	天下野運動公園	運動広場 (野球場)	3.0pt	15.0pt	3.0pt	21pt	C
		テニスコート					
8	松平運動公園	自由広場	7.0pt	5.0pt	5.0pt	17pt	C
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場 (野球場)	6.0pt	13.7pt	3.0pt	22.7pt	B
		野球場倉庫					
		テニスコート					
10	温水プール	温水プール (水泳場)	15.0pt	3.0pt	1.0pt	19pt	C

⑤定量的評価結果に基づく建物ごとの評価表

定量的評価に基づく施設整備に係る建物ごとの優先順位は、以下のとおりです。

施設No.	施設名	建物等	①利用状況 (H28-30平均)	②建物現況	③コスト	建物獲得pt
1	山吹運動公園	体育館(アリーナ、卓球室、柔剣道室含む)	15pt	13pt	5pt	33pt
2	山吹運動公園	野球場(本部室含む)	15pt	11pt	5pt	31pt
3	山吹運動公園	テニスコート	15pt	9pt	5pt	29pt
4	大里ふれあい広場	野球場	11pt	15pt	3pt	29pt
5	白羽スポーツ広場	スポーツ広場(多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む)	15pt	11pt	3pt	29pt
		管理棟	-	11pt	3pt	14pt
6	山吹運動公園	運動広場、芝広場	13pt	11pt	5pt	29pt
7	山吹運動公園	武道館	9pt	13pt	5pt	27pt
8	山吹運動公園	弓道場	9pt	13pt	5pt	27pt
9	大里ふれあい広場	ターゲットバードゴルフ場	11pt	13pt	3pt	27pt
		ふれあいギャラリー	-	13pt	3pt	16pt
10	大里ふれあい広場	テニスコート	9pt	15pt	3pt	27pt
11	水府海洋センター	体育館(柔剣道室、ミーティングルーム含む)	13pt	13pt	1pt	27pt
12	里美運動公園	多目的スポーツ広場(野球場)	9pt	13pt	3pt	25pt
		野球場倉庫	-	13pt	3pt	16pt
13	大里ふれあい広場	ふれあいセンター	9pt	13pt	3pt	25pt
14	大里ふれあい広場	ふれあいプール	9pt	13pt	3pt	25pt
		ふれあいプール管理棟	-	11pt	3pt	14pt
15	大方運動広場	南側、北側	7pt	11pt	5pt	23pt
16	山吹運動公園	相撲場	3pt	15pt	5pt	23pt
17	里美運動公園	テニスコート	3pt	15pt	3pt	21pt
18	山吹運動公園	少年野球場	9pt	7pt	5pt	21pt
19	水府海洋センター	プール	5pt	15pt	1pt	21pt
20	天下野運動公園	運動広場(野球場)	3pt	15pt	3pt	21pt
21	天下野運動公園	テニスコート	3pt	15pt	3pt	21pt
22	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	テニスコート	5pt	11pt	3pt	19pt
		更衣室	-	11pt	3pt	14pt
23	温水プール	温水プール	15pt	3pt	1pt	19pt
24	松平運動公園	自由広場	7pt	5pt	5pt	17pt

(3) 定性的情報

定量的評価結果を補足するスポーツ推進計画上の位置づけや施設の立地状況、その他の各種定性的な情報を下記に示します。

①定性的情報一覧

施設 No.	施設名	内容
1	山吹運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市スポーツ推進計画において、市の中心的なスポーツ施設に位置付けられている。 ・ 市街地に立地する複合的な機能を有するスポーツ施設であり、利用者数が増加傾向にある。 ・ 宿泊研修施設である西山研修所が隣接しており、市民の利用に加えて、スポーツ合宿などを目的とする市外からの利用も多い。 ・ 都市公園として位置づけられており、災害発生時における避難所として指定されるなど、多様な機能を担う。 ・ 市民からは、生涯スポーツ推進のための施設整備が求められている。また、市外・県外からの利用、プロスポーツや実業団等がプレー可能な施設整備を求めるニーズもあることから、その具体化に向けた検討が必要。 <p>「体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道場含む）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 52 年建設の市内でも最も古い体育館であり、老朽化が著しい。 ・ 空調設備がない。 ・ 床下基礎の崩落が多数ある。 ・ トイレが狭いため、イベントの際、トイレ待ちで廊下に列ができる。また、古い水洗トイレのため、廊下まで臭気が漂う。 ・ 館内施設の配置が悪く、利用客のいる体育館を通らないと、会議室に行けない。 ・ 他自治体の体育館と比較して、アリーナが狭小である。 <p>「武道館」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内天井材・床材の交換時期である。 ・ 空調設備がない。 ・ 利用実績から、体育館への複合化の検討が必要である。 <p>「弓道場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎が沈み、的場と射場の方向・高さが一致していない。 ・ 空調設備がない。 <p>「グラウンド」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然芝の張替次期である。 <p>「野球場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然芝の張替次期である。 ・ 外野フェンスの基礎コンクリートが崩壊を始めている。 ・ 球場の向きが良くない。

施設 No.	施設名	内容
1	山吹運動公園 (続き)	<p>「少年野球場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当面は施設に支障はないが、現在のグラウンド状況から、5年後を目安にグラウンド面の凸凹を解消する作業が必要になると思われる。 <p>「テニスコート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工芝の劣化により、張替えの検討が必要。 <p>「相撲場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史のある施設であるが、年1回（市相撲大会）の利用にとどまっている。
2	春友彫刻の森 運動公園 (テニスコート部分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の南東部に立地するテニスコートとそれに更衣室が付帯している。 ・ 近隣に立地する山吹運動公園にもテニスコートが整備されており、機能の重複が認められるうえ、利用者も減少傾向。 ・ 更衣室の構造上、清掃等の管理面の負担が大きく、施設のあり方を検討していくことが必要。 ・ 河川に近い場所のため、河川からの浸水被害等を受けることがある。
3	白羽スポーツ 広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市スポーツ推進計画において、市の中心的なスポーツ施設に位置付けられている。 ・ ソフトボール専用の球場が4面整備されており、令和元年度に開催された「いきいき茨城ゆめ国体」では成年男子ソフトボールの会場に指定。 ・ 成年のサッカーが行える広場が天然芝で整備されるなど、市のソフトボール及びサッカー競技の中心的施設としての役割を担う。 ・ 近年のサッカー人口の増加等に対応するため、通年利用が可能な施設整備の検討が必要。
4	大里ふれあい 広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市スポーツ推進計画において、市の中心的なスポーツ施設に位置付けられている。 ・ 山吹運動公園と並び、市の南部に立地する複合用途のスポーツ施設。 <p>「ターゲットバードゴルフ場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （一社）日本ターゲットバードゴルフ協会公認コースとして市内外から利用されている。 <p>「ふれあいセンター」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内人工芝が設置されているが、劣化が進んでおり、粉塵化した際には張替えが必要になる。 <p>「ふれあいプール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が利用する頻度が高い。 <p>「テニスコート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工芝の劣化により、将来的に張替えが必要。 <p>「野球場」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ少年団、シニアリーグのチーム等、地域のスポーツ団体の利用が多く、今後も同様の機能を維持していくことが必要。 ・ 防球ネットが設置されていない箇所があり、住宅地にボールが飛び込むことがあるため、非常に危険である。

施設 No.	施設名	内容
5	大方運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地の半分以上が未整備の施設である。 ・ 市スポーツ推進計画において、市の中心的なスポーツ施設に位置付けられている。 ・ 市の南西部に立地するソフトボール中心のグラウンドと少年サッカー中心のグラウンドの2面が整備された施設。 ・ スポーツ少年団少年野球チーム等の利用が多く、週末は利用が飽和状態となっており、市民から拡大の要望もみられる。 ・ 白羽スポーツ広場同様、今後のサッカー人口の増加に伴うサッカー場の不足への対応が必要。
6	水府海洋 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の北西部における唯一の公営プールを備えた複合用途のスポーツ施設。 「体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）」 ・ スポーツ少年団などにも利用されるほか、各種大会も開催される。 「プール」 ・ 年間 2,000 人程度の利用があり、今後も市内小中学校において、プール授業の実施場所としての活用が期待される。
7	天下野運動 公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水府海洋センターに隣接するテニスコートと運動広場（野球場）。両施設とも水府地域における唯一のテニスコートと野球場である。 「運動広場（野球場）」 ・ 利用者は少ないものの一定数存在しており、同地域におけるスポーツ活動の場としての一定の役割を果たしている。 「テニスコート」 ・ 無料で利用可能となっているが、利用が減少傾向にある。 ・ コート面にひび割れがある。
8	松平運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の中西部に位置し、敷地面積に対して利用者が多い。 ・ スポーツ活動の場としての機能に加え、高齢者等の交流の場としても機能を有している。
9	里美運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の北部における数少ないスポーツ施設。 ・ 同地域における高齢化や人口減少の状況、利用者の推移を注視し、今後のあり方を検討していくことが必要。 「多目的スポーツ広場（野球場）」 ・ 利用者は少ないものの、同地域におけるスポーツ活動の場として一定の役割を担う。 「テニスコート」 ・ すでに利用を中止している。

施設 No.	施設名	内容
10	温水プール	<ul style="list-style-type: none"> ・市南部に立地するプールであり、指定管理者により管理運営されている。 ・水府海洋センター同様、今後、市内小中学校において、プール授業の実施場所として更なる活用の可能性がある。

②危険度

①定性的情報から、危険度を以下のとおり算出しました。

施設 No.	施設名	内容	危険度
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道場含む）	A
		武道館	C
		弓道場	C
		野球場	C
		テニスコート	C
		相撲場	C
3	白羽スポーツ広場	スポーツ広場（管理棟含む）	B
4	大里ふれあい広場	テニスコート	C
		野球場	A
		ふれあいセンター	C
5	大方運動公園	南側、北側	B
7	天下野運動公園	テニスコート	C

(4) スポーツ施設の方向性と整備計画

定量的評価結果を定性的情報により補足し、それぞれの施設の整備について、①更新、②機能向上・拡大、③現状維持、④廃止の4つの方向性を示します。

それぞれの方向性の内容と、施設ごとの方向性は以下のとおりです。

No.	方向性	概要
1	更新	<ul style="list-style-type: none">・ 更新期にある施設を解体し、新たな施設を建設。・ 地域や利用者ニーズに合わせた施設用途の変更を伴う大規模改修の実施。
2	機能向上・拡大	<ul style="list-style-type: none">・ 競技に対するニーズ等への対応のため、さらなる機能向上や施設の拡大を図る。
3	現状維持	<ul style="list-style-type: none">・ 現状を維持しつつ可能な限り予防保全と必要な改修を行い、ライフサイクルコスト削減に努める。
4	廃止	<ul style="list-style-type: none">・ 今後、利用の中止や建物の解体を実施。

施設 No.	施設名	方向性	優先度	評価要約・方向性の内容
1	山吹運動公園	更新	高	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運動公園グラウンドを中心に、体育館（アリーナ、卓球場、柔剣道室含む）やテニスコートなど、利用が最も多い施設であり、市民のスポーツの場として重要な機能を果たしている。 ■ 当市内で、最も古いスポーツ施設であり、市民体育館（アリーナ、卓球場、柔剣道室含む）や弓道場をはじめとする各施設の老朽化が著しく、また、バリアフリーにも未対応。 ■ 生涯スポーツ推進のための施設整備が求められている。また、市外・県外からの利用やプロスポーツや実業団等がプレー可能な施設整備を求めるニーズもあることから、その具体化に向けた検討が必要。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用者が最も多く、施設の老朽化も進んでいることから、上記ニーズに対応するため、再優先で市民体育館を中心とした施設の更新を図る。 ▶ 更新に当たっては、利便性等に係る評価結果等を鑑み、現在の立地している都市公園区域内で実施する。 ▶ 春友彫刻の森運動公園テニスコートのサービスを集約する。 ▶ 市民がスポーツを「する」だけでなく、プロスポーツや実業団等の誘致により、スポーツを「観る」「支える（育てる）」機会の提供を検討する。 ▶ 更新後の施設については、利用者の利便性向上や効率的な施設運営の観点から、指定管理者による施設の運営・管理についても検討する。
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	廃止	低	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者が少なく、また、テニスコートについては、山吹運動公園との機能の重複がみられる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 山吹運動公園と機能が重複していることから、財政上・管理上の負担軽減の観点からも、廃止が相当。 ▶ 現在の利用者へのサービスは、近隣の山吹運動公園テニスコートに集約する。

施設 No.	施設名	方向性	優先度	評価要約・方向性の内容
3	白羽スポーツ広場	機能向上 ・拡大	高	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者が多く、各種スポーツ競技大会等が開催される市内でも数少ない多面スポーツ広場。 ■ 管理棟におけるバリアフリー化や、サッカー需要への高まりへの対応が課題。 <p>➤ 通年利用が可能な施設整備等、同施設に求められる機能の向上・拡大を図る。</p>
4	大里ふれあい広場	現状維持	中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設のそれぞれの施設で一定の利用がみられ、特にターゲットバードゴルフ場は、市内はもとより市外からの利用も多い。 ■ 地域のスポーツ団体等の活動の場所を適切に提供していくことが重要。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ 利用ニーズに対応するため、適切な運営・管理の体制のもと、可能な限り予防保全を行いつつ、同施設の機能維持を図るとともに、将来の更新に向けての検討を行う。</p>
5	大方運動公園	機能向上 ・拡大	高	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ少年団や少年野球チームの活動の場として重要な機能を果たしており、規模拡大の要望もある。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ スポーツ少年団等の利用が多いとともに、規模拡大の要望もあることから、同施設に求められる機能の向上・拡大を図る。</p>

施設 No.	施設名	方向性	優先度	評価要約・方向性の内容
6	水府海洋センター	現状維持	中	<p>【体育館(柔剣道室、ミーティングルーム含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一定の利用がみられるが、老朽化が進行しているとともに、バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ 利用ニーズに対応するため、適切な運営・管理の体制のもと、可能な限り予防保全を行いつつ、同施設の機能維持を図るとともに、将来の更新に向けての検討を行う。</p>
		現状維持	中	<p>【プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の利用者は少ないものの、今後とも、小中学校におけるプール授業の場としての活用が期待される。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ 利用ニーズに対応するため、適切な運営・管理の体制のもと、可能な限り予防保全を行いつつ、同施設の機能維持を図るとともに、将来の更新に向けての検討を行う。</p>
7	天下野運動公園	現状維持	中	<p>【テニスコート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 劣化が認められるとともに、利用客も少なく、同地域における施設(テニスコート)の役割が少なくなっている。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ 同地域の人口動態、利用ニーズ及び他の用途への転換可能性等の精査を進め、新たなスポーツ施設としての利用可能性についての検討を行う。</p>
		現状維持	中	<p>【運動広場(野球場)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一定の利用がみられ、同地域における一定の役割を果たしている。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 <p>➤ 同地域の人口動態や利用状況の推移等を踏まえ、将来的な施設のあり方について、今後も継続的に検討を重ねていく。</p>

施設 No.	施設名	方向性	優先度	評価要約・方向性の内容
8	松平運動公園	現状維持	中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 敷地面積に対して、利用者数が多く、高齢者の交流の場等としても機能。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 ➢ 利用ニーズに対応するため、適切な運営・管理の体制のもと、可能な限り予防保全を行いつつ、同施設の機能維持を図る。 ➢ ベンチ等、付属施設の劣化が認められるので、交換・修理が必要。
9	里美運動公園	現状維持	中	<p>【多目的スポーツ広場（野球場）、野球場倉庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 当地域におけるスポーツ活動の場として、一定の役割を果たしている。 ■ バリアフリー化への対応が必要。 ➢ 同地域の人口動態や利用状況の推移等を踏まえ、将来的な施設のあり方について、今後も継続的に検討を重ねていく。
		廃止	低	<p>【テニスコート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ すでに利用を休止している。 ➢ 財政上・管理上の負担軽減の観点からも、廃止が相当。
10	温水プール	現状維持	中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定管理者により運営がなされ、利用者数、建物現況ともにおおむね良好。 ➢ 現状維持が相当。

各施設の方向性をもとに、今後 10 年間における具体的な整備計画を以下に示します。なお、本計画策定以降、各種状況の変化があった場合には、適宜対応の実施時期について見直しをすることとします。

施設 No.	施設名称	建物名	方向性	対応年度										
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
1	山吹運動公園	体育館（アリーナ、卓球室、柔剣道室含む）	更新											
		武道館	更新											
		弓道場	更新											
		運動広場、芝広場	現状維持											
		野球場（本部室含む）	現状維持											
		少年野球場	現状維持											
		テニスコート	更新											
		相撲場	更新											
2	春友彫刻の森運動公園 （テニスコート部分）	更衣室												
		テニスコート	廃止											
3	白羽スポーツ広場	管理棟	現状維持											
		スポーツ広場 （多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）	機能向上・ 拡大											
4	大里ふれあい広場	ふれあいギャラリー	現状維持											
		ターゲットパードゴルフ場	現状維持											
		ふれあいセンター	現状維持											
		ふれあいプール管理棟	現状維持											
		ふれあいプール	現状維持											
		テニスコート	現状維持											
		野球場	機能向上・ 拡大											
5	大方運動公園	南側、北側	機能向上・ 拡大											
6	水府海洋センター	体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む）	現状維持											
		プール	現状維持											
7	天下野運動公園	運動広場（野球場）	現状維持											
		テニスコート	現状維持											
8	松平運動公園	自由広場	現状維持											
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場（野球場）	現状維持											
		野球場倉庫	現状維持											
		テニスコート	廃止											
10	温水プール	温水プール（水泳場）	現状維持											

なお、廃止予定の施設については、学校施等の利用による当該施設の代替機能を確保するとともに、当該施設が立地する地域の市民意見を十分に踏まえつつ、当該施設に対して活用意欲のある民間事業者等とも連携しながら、様々な活用の可能性について調査・検討していくこととします。

(5) 各スポーツ施設のライフサイクルコスト（推計）

各スポーツ施設の方向性に基づき算出した、施設の10年間のライフサイクルコスト※（以下、「LCC」という。）は以下のとおりです。各スポーツ施設のLCCの算出に当たっては、平成30年度に策定した常陸太田市公共施設等再配置計画で用いた単価及び計算式を採用しています。

各スポーツ施設の更新時における民間活力の活用や規模の適正化、平時における施設の維持・管理方法の効率化等の対策を行うことにより、これらの対策を実施しなかった場合と比較して約1億5,000万円のコスト削減が見込まれます。

各スポーツ施設のライフサイクルコスト

（単位：百万円）

No.	施設名	方向性	10年間のLCC比較		LCC削減額
			LCC削減対策なし	LCC削減対策あり	
1	山吹運動公園	更新	1,732	1,587	145
2	春友彫刻の森運動公園 (テニスコート部分)	廃止	0	0	0
3	白羽スポーツ広場	機能向上・拡大	108	104	4
4	大里ふれあい広場	現状維持	291	291	0
5	大方運動公園	機能向上・拡大	28	26	2
6	水府海洋センター	体育館:現状維持	80	80	0
		プール:現状維持			
7	天下野運動公園	運動広場(野球場):現状維持	11	8	3
		テニスコート:現状維持			
8	松平運動公園	現状維持	4	3	1
9	里美運動公園	多目的スポーツ広場(野球場):現状維持	23	23	0
		テニスコート:廃止			
10	温水プール	現状維持	376	376	0
合計			2,652	2,497	155

本試算結果は、本計画策定時点の前提条件に基づく概算を示すものであり、実際の対策費用とは異なる場合があります。また、今後の各スポーツ施設の利用状況の変化や利用者からの要望、その他の要因等により、本計画に記載のない対応が生じる場合があります。

※ライフサイクルコストについて

- ・ 建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階および解体再利用段階の各段階のコストの総計のこと。

(6) スポーツ施設に対する新たな利用ニーズの検討・発掘

本市の人口の減少や高齢化等に伴い、今後スポーツ施設の利用者は減少していくことが見込まれます。こうした中、スポーツ施設をより多くの方に利用していただくためには、スポーツ施設をスポーツ以外にも様々な目的での利用を促進していくことが必要です。

そのため、スポーツ施設に対する新たな利用ニーズの検討・発掘を行い、注目が高まりつつある新興競技等の活動場所としての活用や、観光関連部署や民間事業者等と連携した施策の展開を推進し、各施設の利用者増加を図ります。

(7) 利用料金体系の見直しと運営・管理体制の検討

本市のスポーツ施設をより長期間、より多くの利用者に安全で快適に利用してもらう環境を整備するためには、施設ごとに適正な修繕や改修を行っていくことが必要となります。

こうした環境を維持していくためには、各施設の利用料金についても柔軟な運用を検討していくことが必要です。今後、各スポーツ施設の維持・管理等に係るコストに関する十分な情報公開を行いつつ、施設の利用料金について見直しを行います。

また、施設の運営・管理方法については、職員の適正配置の検討に加え、他自治体における指定管理者制度やPFI/PPP*を含めた業務委託等の事例について調査し、直営からの見直しを検討・実施していくこととします。

※PFI/PPPについて

・ PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

・ PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）

公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム。PFIは、PPPの代表的な手法の1つ。

6. 資料編

6. 資料編

(1) 常陸太田市スポーツ施設整備計画策定委員会設置要項

(設置)

第1条 常陸太田市スポーツ推進計画に基づき、市民のニーズや利用状況を踏まえ、中長期的な視点に立ったスポーツ施設の整備及び適切な維持管理を行うことを目的とした常陸太田市スポーツ施設整備計画（以下、「スポーツ施設整備計画」という。）を策定するため、常陸太田市スポーツ施設整備計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次に掲げるものとする。

- (1) スポーツ施設整備計画の策定に関すること。
- (2) その他スポーツ施設整備計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会教育長が委嘱する。

- (1) スポーツに関する団体の関係者
- (2) スポーツ推進委員
- (3) 学校関係者
- (4) スポーツ及びびスポーツ施設に関する見識を有する者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日からスポーツ施設整備計画が策定された日までとする。

ただし、その職により委嘱された委員の任期は、その職にある期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員会は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 この要項の定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。

附則

この要項は、令和元年10月29日より施行する。

(2) 策定委員会開催経過

開催時期	内容	
令和元年 10 月 29 日	第 1 回策定委員会	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 常陸太田市スポーツ施設整備計画（案）について 4. その他 5. 閉会
令和元年 11 月 29 日	第 2 回策定委員会	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 常陸太田市スポーツ施設整備計画（案）について 4. その他 5. 閉会
令和元年 12 月 24 日	第 3 回策定委員会	1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 常陸太田市スポーツ施設整備計画（案）について 4. その他 5. 閉会

(3) スポーツ施設の現況

1. 山吹運動公園

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
 <p style="text-align: right;">地理院地図</p>	<p>①体育館(アリーナ、卓球室、柔剣道室含む)</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による天井・壁面等のひび割れ多数
	<p>②武道場</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による天井・壁面等のひび割れ多数
	<p>③弓道場</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による天井・壁面等のひび割れ、剥離、シミ多数 ・地盤沈下の発生
	<p>④運動広場、芝生広場</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックのゆがみ、照明の錆あり
	<p>⑤野球場</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス及びその他付帯設備の劣化あり ・スコアボードBS0未対応
	<p>⑥少年野球場</p> 					
	<p>⑦テニスコート</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート芝長が不十分 ・外周フェンスに錆あり
	<p>⑧相撲場</p> 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による天井・支柱等の錆

2. 春友彫刻の森運動公園（テニスコート部分）

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	<p>①テニスコート</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・樹木による根上がりあり ・ベンチ等の経年劣化あり
	<p>②更衣室</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による壁面・階段のヒビあり ・トイレガラスの破損

3. 白羽スポーツ広場

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	<p>①スポーツ広場（多目的スポーツ広場、ふれあいスポーツ広場含む）</p> 					<p>・スポーツ広場の天然芝、その他ネット、フェンスの劣化あり</p>
	<p>②管理棟</p> 					<p>・経年劣化による外壁等のヒビあり</p>

4. 大里ふれあい広場

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	<p>①ふれあいギャラリー</p> 					<p>・経年劣化による天井、壁面等の剥離、ヒビあり</p>
	<p>②ターゲットバードゴルフ場</p> 					<p>・敷地内に立地する東屋の経年劣化</p>
	<p>③ふれあいセンター</p> 					
	<p>④ふれあいプール</p> 					<p>・経年劣化による壁面、天井等のヒビ、錆あり</p>
	<p>⑤テニスコート</p> 					<p>・フェンスに錆あり</p>
	<p>⑥野球場</p> 					<p>・経年劣化による付帯設備のヒビ、錆あり</p>

5. 大方運動公園

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	<p>①南側</p> 					<p>・ベンチの劣化あり</p>
	<p>②北側</p> 					<p>・サッカーゴールの劣化あり</p>

6. 水府海洋センター／7. 天下野運動公園

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	①体育館（柔剣道室、ミーティングルーム含む） 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による天井、壁面、ヒビ、シミあり
	②プール 					<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による錆、壁面剥離あり
	③運動広場（野球場） 					<ul style="list-style-type: none"> ・ネット、ベンチ等の劣化あり
	④テニスコート 					<ul style="list-style-type: none"> ・コート及びフェンスに著しい劣化あり

8. 松平運動公園

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況			備考	
	<p>①自由広場</p> 					<p>・ベンチ等の劣化あり</p>

9. 里美運動公園

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況				備考
	<p>①多目的スポーツ広場（野球場）</p> 					<p>・経年劣化による観客席、フェンス等のヒビ、錆あり</p>
	<p>②野球場倉庫</p> 					
	<p>③テニスコート</p> 					<p>・現在利用中止</p>

10. 温水プール

施設写真（航空写真）	建物等	施設状況			備考	
	<p>①温水プール</p> 					<p>・おおむね良好だが、一部経年劣化による錆等あり</p>

(4) スポーツ施設整備計画策定委員会委員名簿

※敬称略、順不同

No.	氏名	役職等	選出区分	備考
1	長嶋 猛夫	スポーツ少年団本部長	スポーツに関する団体の関係者	副委員長
2	富田 正一	スポーツ推進委員協議会会長	スポーツ推進委員	
3	横倉 寿美	市中学校体育連盟会長	学校関係者	
4	猪狩 亮人	日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員 日本体育施設協会公認トレーニング指導士等	スポーツ及びスポーツ施設に関する見識を有する者	
5	篠原 勝幸	市町会長協議会連合会会長 スポーツ推進計画策定委員副委員長	その他必要と認める者	委員長
6	柴田 崇	スポーツ推進計画策定委員	その他必要と認める者	
7	田所 美朗	市体育協会賀美支部長 スポーツ推進計画策定委員	その他必要と認める者	
8	綿引 況子	市健康づくり推進協議会委員 スポーツ推進計画策定委員	その他必要と認める者	
9	永田 由紀夫	金砂郷食品代表取締役	その他必要と認める者	
10	平山 嘉奈恵	子育て上手常陸太田推進隊	その他必要と認める者	



令和2年3月
常陸太田市スポーツ施設整備計画

〒313-0007

茨城県常陸太田市新宿町1

常陸太田市教育委員会スポーツ振興課スポーツ振興係

TEL : 0294-73-0090

FAX : 0294-73-1230